

6. ICF のモデル

障害に関する2つの主要な概念モデル(**conceptual model**)が提案されてきた。医学モデル(**medical model**)は、障害(**disability**)を病気や傷害、その他の健康状態から直接引き起こされた人の特性とみる。それは専門家による個別的な治療という形での医療を必要とする。このモデルでは障害は、個人のもつ問題を改善するために、医療あるいはその他の治療や介入を必要とする。

一方、社会モデル(**social model**)は、障害を社会によって作られ、個人の属性では全くないものとみる。社会モデルでは、その問題が社会環境の態度や他の特性によってもたらされた不適切な物理環境によって生みだされたので、障害は政治的な対応が求められる。

両者とも部分的には妥当であるが、いずれのモデルも単独では十分ではない。障害は複雑な現象である。それは人の身体レベルの問題でもあり、複雑でかつ主要な社会現象でもある。障害は、常に、個人の特性と個人が生活している全体的な背景の特性との間の相互作用である。しかし、障害の幾つかの側面はほとんどその人の内的なものであり、一方、他の側面はほとんど外的なものである。言い換えると、医学的および社会的な対応はともに、障害と関連した問題に対して適切である；我々はいずれか一方の種類の介入を完全には否定できない。

要約すると、より良い障害のモデルとは、全般的で複雑な障害の概念をその側面の一つに集約するという間違いをおかすことなく、医学、社会モデルの中にある真理を統合したものである。

障害のより有用なモデルは、生物・心理・社会モデル(**bio-psycho-social model**)と呼ばれるかもしれない。ICFはこのモデル、つまり、医学モデルおよび社会モデルの統合に基づいている。この統合によって、ICFは健康に関する異なる観点(生物、個人、社会)の一致した見方を提供する。

下記の図はICFの基本である障害のモデルの一つの表現である。

